

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

平成30年 6月22日

独立行政法人水資源機構  
池田総合管理所  
所長 木下 昌樹

### 1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、富郷ダム・新宮ダム管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を徴取するものです。

なお、この参考見積募集は、業務等の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありません。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1)水資源機構における平成29・30年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2)営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3)当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

参考見積書は次に従い提出してください。

- (1)参考見積書は作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出してください。  
なお、別紙見積り項目を満たすものであれば、参考見積書の様式は問いません。
- (2)提出期間 平成30年7月4日（水）から平成30年7月6日（金）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3)提出先  
独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 所長 木下 昌樹 宛  
【担当】新宮ダム管理所 近藤  
〒799-0301 愛媛県四国中央市新宮町馬立1144番地  
TEL 0896-72-2021 FAX 0896-72-2628
- (4)提出方法  
書面は持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

### 4. 参考見積内容

- (1)業務基本条件

本業務は、新宮ダム・富郷ダム貯水池の深浅測量を行い、堆砂量を把握するものであり、測量内容の詳細については、別紙見積り条件のとおりとします。

(2) 業務作業項目、作業内容及び作業数量

作業項目	作業内容	作業数量
深浅測量	1. 艀装テスト	1 回当たり
	2. 深浅測量 (ナローマルチビーム)	1km <sup>2</sup> 当たり
	3. データ整理	//
	4. データ入力	1 測線当たり
5. 測量結果整理 (等高線スライス法)		1km <sup>2</sup> 当たり

全体数量は概ね富郷ダムが 1.2km<sup>2</sup>、新宮ダムが 0.7km<sup>2</sup> 程度を想定している。

(3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料 (調査等編)」(以下「基準書」という。)によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(2)「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「平成30年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 依頼書に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面 (様式は自由) により提出してください。

(1) 提出期間: 平成30年6月25日 (月) から平成30年6月28日 (木) まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所: 3. (3)に同じ。

(3) 提出方法: 3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

平成30年7月3日 (火) までに書面で回答します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

以上。

# 見積り条件

下記条件において実施する深浅測量の歩掛等見積りを別紙様式のとおり記入し、提出していただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 1. 深浅測量

深浅測量として、以下の作業を行う。

なお、本深浅測量の点検測量率は2%とし、点検測量の記録を測量成果品に添付するものとする。

### ① 艀装テスト

事前に艀装テストを行い、機器の調整等を行うものとする。

### ② 深浅測量(ナローマルチビーム)

ダム貯水池の河床堆砂状況の測量を目的とした深浅測量を行うものとする。

深浅測量に使用する機器については、GPSにより船位を観測し、ナローマルチビーム型測深機を連動させ、ダム貯水池全体の深浅測量を行い、河床地形を3次元的な地形情報として連続的にデータ取得するものとする。

なお、測量データの取得は、1mメッシュに1点以上とし、ナローマルチビームによる深浅測量は、水深1m以深の範囲とする。

### ③ データ整理

計測データから水中ノイズを取り除き、河床標高データを抽出し、1m×1mの格子標高データを作成するものとする。

### ④ データ入力

堆砂計算に使用する測線の標高データ(5m間隔)を作成し、機構が貸与する堆砂測量図化システムに入力するものとする。

平均水位(直近5年)での水面幅(昨年実施幅)は以下のとおりである。

	平均水位	測量面積	平均水面幅
富郷ダム	EL.441.50m	約 1.2 km <sup>2</sup>	約 213 m(水深3m以上)
			約 25 m(水深1m以上3m未満)
新宮ダム	EL.226.38m	約 0.7 km <sup>2</sup>	約 95 m(水深3m以上)
			約 24 m(水深1m以上3m未満)

## 2. 測量結果の整理(等高線スライス法)

測量結果を等高線スライス法により整理し、有効貯水容量内堆砂量、死水容量内堆砂量、貯水池全体の堆砂量等、「ダムの堆砂状況調査要領(案)平成17年6月29日 国土交通省河川局河川環境課」の堆砂状況調査表を作成するために必要な数値を求める。

## 3. 支給品及び貸与品等

本作業において必要となる機械については、次表のとおり貸与するものとする。

### 1) 貸与品

品名	規格	単位	数量	備考
巡視船:ほうおう(富郷ダム)	定員10名	隻	1	燃料については受注者にて準備する。
作業船:くれいし	定員5名	隻	1	燃料については受注者にて準備する。
図化システム	Qwace'n Ver.2	式	1	

## 4. 見積り有効期限

平成31年3月31日までとする。

## 見積り項目

1. 測量面積は、見積り条件程度で考えているが、水位による面積の増減があることから、面積増減による補正を行う場合に、面積比例以外の補正係数、補正計算等を考慮する必要がある場合は、考え方等(補正係数、計算式等)を備考欄等に記載して下さい。
2. 富郷ダム、新宮ダムそれぞれの提出をお願いします。ただし、単位当たりの歩掛が同じ場合は、その旨を記載のうえ、同一で提出してもかまいません。

総括表					
		歩掛	単価	金額	備考
艀装テスト	回	1.0			
深浅測量(ナローマルチビーム)	km <sup>2</sup>	1.0			
データ整理	km <sup>2</sup>	1.0			
データ入力	測線	1.0			
測量結果の整理(等高線スライス法)	km <sup>2</sup>	1.0			

### 艀装テスト

(1回当たり)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 <sup>※1</sup>	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
測量船操縦士	人				
機械経費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の〇%
材料費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の〇%
精度管理費	式				精度管理費係数〇
合計(金額)					

### 深浅測量(ナローマルチビーム)

(1km<sup>2</sup>当たり)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 <sup>※1</sup>	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
測量船操縦士	人				
機械経費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の〇%
材料費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の〇%
精度管理費	式				精度管理費係数〇
合計(金額)					

### データ整理

(1km<sup>2</sup>当たり)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 <sup>※1</sup>	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
測量船操縦士	人				
機械経費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の〇%
材料費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の〇%
精度管理費	式				精度管理費係数〇
合計(金額)					

データ入力

(1測線当たり)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 <sup>※1</sup>	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
測量船操縦士	人				
機械経費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の○%
材料費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

測量結果の整理(等高線スライス法)

(1km2当たり)

		歩掛	単価	金額	備考
直接人件費 <sup>※1</sup>	式				
測量主任技師	人				
測量技師	人				
測量技師補	人				
測量助手	人				
測量補助員	人				
測量船操縦士	人				
機械経費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の○%
材料費 <sup>※2</sup>	式				直接人件費の○%
精度管理費	式				精度管理費係数○
合計(金額)					

※1 直接人件費は必要に応じた技術者(測量主任技師、測量補助員等)を計上する。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて個別又は直接人件費の割合で計上する。